

平成 21 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録

日時：平成 21 年 4 月 10 日（金） 18:30～21:30

場所：社会基盤工学専攻大会議室

出席者：竹内会長，水野(1 期)，高瀬(2 期)，南川(3 期)，遠山(5 期)，横田(6 期)，近藤(7 期)，藤田(7 期・東京支部)，寺島(8 期)，吉田(10 期)，伊藤(11 期)，水野(12 期)，田中(13 期)，磯部(14 期)，大東(16 期)，織田(17 期)，岩田(18 期)，伊東 (20 期)，中村(23 期)，中野(24 期)，野田(25 期・幹事長)，鈴木(26 期)，加藤(28 期・副幹事長)，井上(31 期・しゃち)，葛西(32 期・広報)，三輪(34 期・会計)，中井(36 期・会計)，田代(36 期・会計)，李(37 期・留学)，上田(39 期・名簿)，二井内(41 期)，村井(44 期)，上山(45 期)

■役員会に先立ち，会長挨拶および幹事自己紹介があった。

報 告

1. 平成 20 年度分会計報告 (三輪)
 - ・平成 20 年度の支出状況についての説明があった。
 - ・学生会費は，平成 20 年度より卒業時の徴収に変更したため，90%以上の納入率があった。
 - ・自動引き落としの手続きをした会員は次第に増加している。
 - ・名簿・しゃち送付では，メール便単価が通常額になった（80 円→160 円）ため，費用が増加した。
2. 会費納入状況について (田代)
 - ・4 月現在の各期納入状況一覧が示され，説明があった。なお，会費請求対象者には，終身会員留学生だけでなく，会費請求書を発送していない海外現住所の留学生もカウントしていない。
 - ・平成 20 年度から郵便振替用紙を今会計年度分と未納分に分けたため，初めて納入する会員が増加したと考えられる。
 - ・44 期まで全体でみると，平成 20 年度分の会費納入率（会員人数で）43%（自動引き落とし 36%+郵便振替 7%）
 - ・会費納入については，各期幹事は引き続き会員へのお願いをすることを確認した。
3. 後援基金報告 (中村)

20 年度下半期の支出状況について報告があった。詳細は，特別講演謝礼 0 件，博士論文印刷補助 1 件。
4. 教室近況報告 (中野)
 - ・前回役員会からの教室の人員配置の変更等として，伊藤教授の情報戦略室室長への就任，奥田教授の昇任（4 月 1 日），谷川准教授の着任（4 月 1 日），三輪准教授の昇任（4 月 1 日）

が報告された。なお、次回の教室近況報告では、これまでの形式的な講座名では教員の関連性が見えにくいため、研究グループ毎(系毎)で整理された名簿を提出する予定である。

- ・社会環境工学専攻と都市環境学専攻に跨る国際環境人材育成プログラム(NUGELP:日本人学生を対象、全て英語で講義)が4月1日よりスタートした旨、説明があった。
- ・平成21年度は、教室でJABEEを再申請予定。また伊勢湾台風から50年目で、あと2年で名大土木50周年であるので、教室として土木教室50周年記念事業を検討していく旨、説明があった。
- ・また、教室主任を鏡ヶ池会教員幹事としたい旨の発言もあった。

5. 支部活動報告

1)東京支部

(藤田)

- ・20年度の支部総会報告(40名の出席者)とともに、21年度の活動計画が報告された。
- ・21年度の支部秋祭りフォーラム&総会の開催は、11月6日(金)14時~21時。参加資格は鏡ヶ池会会員全員。
- ・土木創立50周年の独立企画も準備中であることも説明された。

2)関西支部

- ・野田(幹事長)から現状の概略説明と今後の方針を関西支部の会員と検討したい旨説明があった。

6. 学生会活動報告

(村井)

- ・20年度の活動報告(会計報告含む)として、恒例の名大祭土木展、研究室対抗ソフトボール大会、就職試験対策勉強会に加え、新たに土木系教員・学生間の交流を深める目的で懇親会を実施したことが報告された。
- ・21年度の活動計画として、土木系の懇親会は大学院の新生歓迎を目的とした懇親会を実施することが報告され、これに対し、今年度も10万円を限度とする補助を行うことを(学生会活動費とは別枠)了承した。また学生会の活動を活発化させる予定であることが説明され、これに対し、必要な経費の補助は随時検討してゆくことが了承された。

7. 土木事業談話会・マナー講座報告

(野田)

- ・平成20年12月6日(土)に土木事業に関する談話会を行い、43名の学生が参加したこと、懇親会費用・講師交通費120,000円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。
- ・平成21年1月15日(水)にマナー講座を行い、63名の学生が参加したこと、講師派遣費用66,580円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。

8. 鏡ヶ池会懇親会について

(野田)

- ・愛知県と7月3日、10日、17日で開催日を調整中。決定次第、幹事にメールで連絡する。

9. その他

- ・伊藤幹事(11期)より、名大創立70周年記念式典が平成21年10月17日に、ホームカミ

ングデイが10月24日に開催されることが紹介された。また、鏡ヶ池会から、創立記念に際し名古屋大学（基金）への20万円の寄附が提案され、これを了承した。70周年記念式典時に合わせて、豊田講堂に「名古屋大学鏡ヶ池会」の名前を付した銘板が設置されることになる。

議 事

1. 幹事・役員の変更 (野田)
 - ・役員・幹事の変更が承認された。
支部担当（東京）：山村和弘→平井光之，しゃち担当：判冶 剛→戸田祐嗣，教員幹事：森川高行→中野正樹，43期：井上佳菜→赤根幸仁，45期：子安友加里・清水康祐→上山博満（以上、敬称略）が承認された。
2. 平成20年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録（案） (野田)

議事録案が承認された。
3. 「会員名簿 No.45」編集方針 (上田)
 - ・No.44の編集・発送の総括，No.45の編集方針と今後のスケジュールが説明され，了承された。
 - ・No.44の総括では，メールサーバーの変更に伴い，幹事からの名簿が添付されたメールがスパムメールと誤判断されメールでの連絡ができない場合が生じたことなどが報告された。このメールサーバーの誤判断については，その対処方法として，幹事に別のメールアドレスへの送信（返信）をお願いする可能性があること，現在は（サーバーが学習し）この問題は概ね解消していると考えられるものの，幹事がサーバー登録以外のメールアドレスから送付する場合には，引き続きスパムメールとして判断される可能性があることも説明された。
 - ・返送された名簿としゃちは，正しい住所を担当に連絡すれば再送付することが報告された。
4. 「しゃち No.50」編集方針 (井上)

しゃちの編集方針が説明され，了承された。

 - ・会長に巻頭言を毎年依頼する。
 - ・しゃち50号記念として，特集は卒業生からの提言（名大土木系教室への期待）とし，卒業生から代表20～25名程度に依頼する。幹事に推薦を依頼する予定。
 - ・なお，「しゃち」は「鯨」と「車地」の両方の意味を掛けているため，ひらがな表記で行うことを確認した。
5. 後援基金の使用ルールについて (中村)
 - ・学位論文印刷補助（申請）者が少ない現状を踏まえ，後援基金の積極的利用促進を目的に使用ルール変更案が提示され了承した。変更点は，①学位論文印刷費補助と②留学生歓迎会補助の2点。①については1)月額20万円以上の収入がある場合は補助なし，2)日本人

は印刷費（実費）の補助（上限2万円）および名古屋大学学術機関リポジトリに学位論文を登録すれば1万円を渡す。3)奨学金のある留学生は名古屋大学学術機関リポジトリに学位論文登録したら終身会員の権利（1万5千円）を与える。4)私費留学生は印刷費（実費）の補助（上限2万円）および名古屋大学学術機関リポジトリに学位論文を登録すれば終身会員の権利（1万5千円）を与える。ただし、補助はしゃちに学位論文概要を書くことが条件。②については、10月に行われる留学生歓迎会に5万円の補助を行う。

6. 留学生の活動の活性化について

（李）

- ・留学生間の繋がりが希薄であるため、留学生に働きかけて積極的に懇親の場を定期的に設けてゆきたい旨が説明され、このために、（後援基金による10月の留学生歓迎会とは別に）5万円を上限に補助することとした。

7. 会費システムの簡素化等に向けての提案

（中井）

「シルバー/プレミアム会員」、「学生会費の廃止(会費について学生会員時の納入を廃止し、正会員時に上乘せる)」、「正会員費の簡素化と一律化」などの、会費システム(会計作業)見直しについての検討状況が紹介され、自由討議を行った。定年を迎えた正会員の処遇、支払方法における利便性(3年一括払い/毎年払い、郵便振替/自動引落/コンビニ支払い等)、鏡ヶ池会全体の収支バランスなどの観点から、世代間の意見の違いも考慮しつつ、会長・幹事長・会員担当(会計)で会費システムの具体案を作成し、次回の役員会に提示することとした。

8. 事務局運営方法の見直しについて

- ・事務局作業の負担軽減と効率化を目的として、事務局に事務職員を置く案が示されたが、事務職員と想定した定常的業務内容との対応に対して異論が出され、再検討することとなった。

9. その他

- ・名簿等のシステム構築者への謝礼については実施しないことが説明された。あわせて、事務局の各担当で行われる作業内容の検討・確認のための(事前)打ち合わせ・反省会などを目的とした会合について経費を認めることが幹事長から提案され、了承した。(野田)
- ・50・60代OBによる教室との共催行事(H19年度第1回役員会)を開催できるよう、教室と検討する。(野田)
- ・シニアの会員のオピニオン誌(「銀しゃち」)の具体的な立ち上げを検討する。(野田)
- ・土木教室創立50周年記念事業実施のための醸金依頼については、教室とともに今後検討していく。(野田)

次回役員会 平成21年10月2日(金)18:00～

以上